

# 入札公告及び入札説明書の訂正

2020年11月16日付入札公告「フィリピンの中高等教育における職業教育訓練一学校、卒業生、家計、労働市場に関する実証研究」データ収集業務」について、入札公告及び入札説明書を以下のとおり一部訂正します。

2020年12月14日

独立行政法人国際協力機構  
緒方貞子平和開発研究所  
分任契約担当役  
副所長 武藤 めぐみ

## <入札公告>

	該当箇所	変更内容
①	4. 入札、開札の日時及び場所	(追記) ※入札者は遠隔で入札書を提出します。詳しくは入札説明書を参照ください。

## <入札説明書>

	該当箇所	変更内容
①	第1 入札手続	(追記) なお、緊急事態宣言終了後も引き続き新型コロナウイルスの感染防止のため、従来の書面(郵送)による手続きに代えて電子メール(以下、メールと記載)による手続きを原則とするとともに、押印などの条件も緩和します。
②	9. 技術提案書・入札書の提出 (2) 提出場所: 「4. (1) 書類等の提出先」参照	(変更) 新型コロナウイルスの感染防止のため、技術提案書(押印写付)・入札書(押印写付)とも、電子データでの提出を原則とします。上記(1)の提出期限日までに(3)をメールに添付して提出ください。 宛先電子メールアドレス: dritpl@jica.go.jp メールタイトル: 【技術提案書・入札書の提出(社名●●)】 : 業務名称 2020年度「フィリピンの中高等教育

	<p>(3) 提出書類：</p> <p>1) 技術提案書（提出部数：正1部、写4部）（別添様式集参照）</p> <p>2) 入札書（厳封）（提出部数：正1通）  a) 「1.1. 入札執行（入札会）の日時及び場所等」に記載する入札執行日に開札する入札書を長3号封筒に厳封の上、技術提案書と同時に提出ください。同入札書は、機構にて厳封のまま入札執行日まで保管します。  b) 本入札書については、原則代理人を立てず、入札者の名称または商号並びに代表者の氏名による入札書とし、社印または代表者印を押印してください。  c) 日付は入札執行日としてください。封筒に入れ、表に件名／社名を記入し、厳封のうえ提出してください。</p> <p>(4) 提出方法：郵送または持参のうえ提出してください。なお、郵送の場合は上記（1）の提出期限までに到着するものに限ります。</p>	<p>における職業教育訓練一学校、卒業生、家計、労働市場に関する実証研究」データ収集業務</p> <p>(変更)  技術提案書（押印写付）（パスワード付き PDF をメールに添付して提出）</p> <p>(変更)  入札書（押印写付）（パスワード付き PDF をメールに添付して提出）</p> <p>(変更)  1) 技術提案書のパスワードは技術提案書の提出と同時に別のメールで同じ宛先に次のタイトルで送付ください。  【技術提案書パスワードの提出（社名●●）】：業務名称 2020 年度「フィリピンにおける職業教育訓練一学校、卒業生、家計、労働市場に関する実証研究」データ収集業務  2) 入札書のパスワードは入札執行（入札会）の日時（2021 年 1 月 5 日（火）14 時）に合わせて同じ宛先に次のタイトルで送付ください。  【入札書パスワードの提出（社名●●）】：業務名称 2020 年度「フィリピンにおける職業教育訓練一学校、卒業生、家計、労働市場に関する実証研究」データ収集業務  3) 以下（7）に記載するとおり、技術提案書については押印写の省略を可とする場合がありますが、入札書については押印写は必須となります。  4) 落札者には（3）提出書類の原本（押印付）を別途、提出頂きます。  5) 機構のシステムでは受信できるメールの容</p>
--	--	---

	<p>(6) その他 1) 一旦提出された技術提案書及び初回の入札書は、差し替え、変更または取り消しはできません。</p> <p>(7) 技術提案書の無効 2) 記名、押印がないとき。</p>	<p>量には制限がありますので 1 回あたりのメールの容量が 4 メガバイト以下になるよう、PDF データを分割するなど調整をお願いいたします。また、圧縮ソフトを用いると機構のセキュリティシステムによりメールが排除されてしまいますのでご注意ください。</p> <p>(変更) メールで一旦提出（送付）された技術提案書 PDF 及び初回の入札書 PDF は、差し替え、変更または取り消しはできません。</p> <p>(変更) 提出された技術提案書に記名、押印写がないとき。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のための在宅勤務等で、社印又は代表者印の押印が困難な場合は、電子データでの送付時に責任者から送付いただくか、責任者を CC に入れて送付いただき、メール本文内に責任者の役職とお名前を明記くださるようお願いいたします。</p>
③	<p>10. 技術提案書の審査結果の通知 (1) その結果を文書をもって通知します。</p>	<p>(変更) その結果を電子メールにて通知します。</p> <p>(追記) なお、技術提案書が不合格であった競争参加者の入札書電子データは、当機構にて責任をもって削除します。</p>
④	<p>11. 入札執行（入札会）の日時及び場所等</p> <p>入札執行（入札会）にて、技術提案書の審査に合格した者の提出した入札書を開札します。合格した者に対しては、代表者若しくは代理人（委任状を要す。）の入札執行（入札会）への参加を求めます。</p>	<p>(変更) 注) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間は対面ではない方式で入札会を実施します。 当機構契約事務取扱細則第 14 条「契約担当役は、競争入札を執行しようとする場合は、競争に参加する者（以下「入札者」という。）を立ち合わせて開札をしなければならない。この場合において、入札者が立会わないときは、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせるものとする」を適用し、予定されていた入札会に代わり当機構のみで入札会を開催することを原則とします。その場合には、入札結果を入札者に個別に連絡します。また、開札の結果、再入札が必要となった場合には（3）のとおりとします。</p>

<p>(3) 必要書類等：入札会への参加に当たっては、以下の書類等をご準備ください。</p> <p>1) 委任状 1通（別添様式集参照。代表権を有する者が出席の場合は不要。）</p> <p>2) 入札書 2通（再入札用）（最大再入札回数2回。別添様式集参照。なお、初回分の入札書は技術提案書と共に提出。）</p> <p>3) 印鑑、身分証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代理人が参加する場合、委任状に押印したものと同一印鑑が訂正印として必要になりますので、持参してください。</li> <li>・ 代表権を有する者が出席の場合は、社印または代表者印に代えて同人の個人印を訂正印として使用することを認めますが、本人であることの確認のため、身分証明書等の提示を求めることがあります。</li> </ul> <p>4) 技術提案書審査結果通知書（写可）</p> <p>(4) 再入札の実施</p> <p>すべての入札参加者の応札額が機構の定める予定価格を超えた場合は、その場で再入札を実施します。</p> <p>再入札に参加する（再入札に係る入札書を提出する）者は、上記の委任状により再入札に参加する権限が委任されていることと押印された入札書が必要となりますので、ご留意ください。</p> <p>(5) その他</p> <p>入札会場で書類を修正する必要がある場合に、以下の手続きが必要となりますので、ご留意ください。</p> <p>1) 代理人が参加する場合、委任状に押印したものと同一印鑑が訂正印として必要になりますので、持参してください。</p> <p>2) 代表権を有する者が参加の場合は、修正箇所、社印または代表者印に代えて同人の個人印を訂正印として使用することを認めますが、代表権者本人であることの確認のため、身分証明書の提示を求めることがあります。</p>	<p>(削除)</p> <p>(変更)</p> <p>すべての入札参加者の応札額が機構の定める予定価格を超えた場合は再入札（最大で2回）を実施します。再入札は、初回入札に続けて実施しますので上記日時に再入札書をメールで送付できるよう遠隔で待機ください。</p> <p>(削除)</p>
--	--

<p>⑤</p>	<p>1 2. 入札書</p> <p>(1) 初回の入札書を除き持参とし、郵送または電送による入札は認めません。</p> <p>(2) 第1回目の入札は、技術提案書と同時に提出済みの入札書を開封します。「1 1. 入札執行（入札会）の日時及び場所等」に記載される「再入札」を行う場合、入札会当日持参した入札書をもって 再入札いただくこととなります。</p> <p>(4) 再入札の入札書は、入札件名、入札金額を記入して、次のいずれかの方法により記名捺印し、封入の上、入札事務担当者の指示に従い入札箱に投入して下さい。</p> <p>2) 代理人を定める場合は、委任状を提出のうえ</p>	<p>(変更)</p> <p>第1回目の入札書（押印写付）はパスワード付き PDF をメールに添付して提出ください。</p> <p>(変更)</p> <p>第1回目の入札書 は入札会の日時に合わせて入札者から提出されるパスワードで開札します。</p> <p>(変更)</p> <p>機構からの指示により再入札の入札書（押印写付）は、入札件名、入札金額を記入して、パスワード付き PDF をメールに添付して提出ください。なお、別メールによるパスワードは機構から指示があるまで提出しないでください。</p> <p>(変更)</p> <p>代理人を定める場合は、委任状を再入札書と同時に提出のうえ</p> <p>(追記)</p> <p>4 ) 宛 先 電 子 メール ア ド レ ス : dritpl@jica.go.jp  メールタイトル:【再入札書の提出(社名●●)】  もしくは【再入札書パスワードの提出(社名●●)】  業務名称 2020 年度「フィリピンの中高等教育における職業教育訓練一学校、卒業生、家計、労働市場に関する実証研究」データ収集業務</p>
<p>⑥</p>	<p>1 4. 落札者の決定方法</p>	<p>(追記)</p> <p>(5) 落札者と宣言された者の失格  入札会において上述の落札者の決定方法に基づき落札者と宣言された者について、入札会の後に、以下の条件に当てはまると判断された場合は、当該落札者を失格とし、改めて落札者を確定します。</p> <p>1) その者が提出した技術提案書に不備が発見され、上述の9. に基づき「無効」と判断された場合</p> <p>2) その者が提出した入札書に不備が発見され、1 3. に基づき「無効」と判断された場合</p> <p>3) 入札金額が著しく低い等、当該応札者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適當であると認められる場合</p>

<p>⑦</p>	<p>15. 入札執行（入札会）手順等</p> <p>(1) 入札会の手順  1) 入札会参加者の確認  機構の入札事務担当者が入札会出席者名簿を回付し、各出席者へ署名を求め、入札会出席者の確認をします。入札に参加できる者は各社1名とし、これ以外の者は入札場所に立ち入ることはできません。</p> <p>2) 入札会参加資格の確認  各出席者から委任状（代表権を有する者が参加の場合は不要）を受領し、入札事務担当者が参加者の入札会参加資格を確認します。</p> <p>3) 技術評価点の発表  入札事務担当者が、入札会に出席している社の技術評価点を発表します。</p> <p>4) 開札及び入札書の内容確認  入札事務担当者が既に提出されている入札書の封を確認し、併せて、各出席者にも確認を求めた上で入札書を開封し、入札書の記載内容を確認します。</p> <p>(2) 再入札の辞退  入札箱に投函してください。</p>	<p>(追記)  「11. 入札執行（入札会）の日時及び場所等」に記した通り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入札会は当面の間、入札者の立ち会いなく開札することとし、機構側の入札執行者、入札事務担当者、入札執行事務の関係のない職員立ち会いのもとで開札します。開札の結果については入札者に個別にメールで報告します。</p> <p>(変更)  1) 機構の入札立ち会い者の確認</p> <p>(削除)</p> <p>(変更)  2) 技術評価点の発表  入札事務担当者が、入札者の技術評価点を発表します。</p> <p>(変更)  3) 開札及び入札書の内容確認  入札事務担当者が既に提出されている入札書（パスワード付きPDF）を入札会時に入札者から提出されるパスワードを用いて開封し、入札書の記載内容を確認します。</p> <p>以下、番号繰り上げ</p> <p>(変更)  メールで送付してください。</p>
<p>⑧</p>	<p>18. その他</p> <p>(4) 技術審査で不合格となり入札会へ進めなかった者の事前提出済み入札書は、技術審査通知に同封するか、あるいは通知後2週間以内を目処に、未開封の状態のまま郵送にて返却いたします。</p>	<p>(変更)  技術審査で不合格となり入札会へ進めなかった者の事前提出済み入札書の電子データ（PDFのパスワードがないので機構では開封できません）は機構が責任をもって削除します。</p>